授業科目名： 生徒指導・進路指導論 （中等）	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： ２単位	担当教員名：今井　文男 林　尚示 担当形態：オムニバス
実務内容 （実務家教員：今井文男）	公立中学校教諭（数学）、公立中学校管理職（校長、教頭） 教育委員会教育アドバイザー、国立大学教職大学院（特命教授）		
科　目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目中学校社会・英語、及び高等学校公民・地歴・英語）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	生徒指導の理論及び方法/ 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		

「学位授与の方針」との関係

本講座は教師としての実践力修得を目指す基本的な講座であることから、「学位授与の方針」A~Fすべてに関わる内容であり、特にC・Dに関わって、他者との関係性を人間形成の基盤に据えて課題に取り組み、共生社会創造に貢献する姿勢を身につけていきます。また、現代の社会病理を見据えて子どもの成長上の課題を明確にし、その視点から生徒指導･進路指導上の諸課題克服を目指すことにより、Eの自律的な課題探求能力の育成を図っていきます。

授業の到達目標及びテーマ

・生徒指導や教育相談についての理論と実際の指導方法等について理解し、組織的な対応の在り方や生徒の特性に着目した実践的な指導法等について認識できるようになる。
・進路指導（キャリア教育）についての理論と実際の指導方法について理解し、組織的・継続的な在り方やガイダンスとカウンセリングの在り方等について認識できるようになる。

授業の概要

・本授業は、教師が生徒の健全な育成を目指し、生徒一人一人の自己実現を図っていくための自己指導力を育成する指導内容や具体的な指導法について学ぶ。
・生徒指導、教育相談、キャリア教育についての知識を深め、その指導方法等について学ぶ。特に、キャリア発達の視点における指導法等について学ぶ。
・スクーリング授業の中では、アクティブラーニングの手法等も用いて実施し、能動的で多面的・多角的な視野で学修を深める。

授業計画

第１回：生徒指導の意義と原理
　生徒指導の全体概要を理解し、その意義と教育課程における位置付け等について理解する。
第２回：生徒指導に関する法制度
　校則や懲戒、体罰等の生徒指導に関する主な法令の内容、法的根拠に基づく指導の在り方等について理解する。
第３回：生徒指導の進め方
　集団指導と個別指導の方法原理、その進め方等について理解する。
第４回：生徒全体や学級経営に関わる生徒指導
　学級担任、教科担任等の役割、計画的な指導の在り方、基礎的な生活習慣や規範意識の醸成の在り方等について理解する。
第５回：教育課程と生徒指導
　教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における生徒指導の相互関係について理解する。
第６回：不良少年や非行少年に関する生徒指導

少年非行の定義や暴力行為の現状や課題、個別の課題を抱える生徒への予防、対応、再発防止等について理解する。

第７回：暴力行為、いじめ、不登校等に関する生徒指導

いじめ防止対策推進法の内容や生徒指導上の課題に関する防止・対応・再発防止等について理解する。

第８回：インターネット等の情報機器に関わる生徒指導

ネットトラブル等についての知識を得るとともに、トラブルの防止や対応策等について理解する。

第９回：虐待や性に関する課題

生徒の虐待や性に関する現状と課題、被害の防止策や対応策、自殺防止策等について理解する。

第１０回：生徒指導と教育相談

生徒指導体制と教育相談体制の基本的な考え方、教育相談の進め方等について理解する。

第１１回：学校全体で取り組むポジィテブな生徒指導

生徒に望ましい行動を育成させるための科学的な指導方法等について理解する。

第１２回：生徒指導における学校・家庭・地域社会・関係機関との連携

家庭・地域・関係機関の役割と、連携の意義、方法等について理解する。

第１３回：進路指導（キャリア教育）の意義及び理論

キャリア教育についての意義や定義、教育課程上の位置づけ、指導の在り方、組織的な指導体制や関係機関との連携の在り方等について理解する。

第１４回：進路指導（キャリア教育）におけるガイダンスとしての指導

全体指導を行うガイダンスの機能を生かしたキャリア教育の意義や留意点、カリキュラムマネジメントの意義、体験的な活動の在り方等について理解する。

第１５回：キャリア・カウンセリングとしての指導

キャリア形成の視点に立った自己評価の意義、ポートフォリオの活用の在り方、キャリア・カウンセリングの基礎的な考え方と実践方法等について理解する。

定期試験

＊スクーリングではすべての内容について包括的に取り上げる。

教科書

（１）文部科学省『生徒指導提要』教育図書 ISBN コード　9784877302740

（２）文部科学省『小学校キャリア教育の手引き（改訂版）』
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/1293933.htm

（３）文部科学省『中学校キャリア教育の手引き』
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/1306815.htm

（４）文部科学省『高等学校キャリア教育の手引き』
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/1312816.htm

参考文献

・教育基本法
・学校教育法
・いじめ防止対策推進法
・児童虐待防止法
・文部科学省「中学校学習指導要領」「高等学校学習指導要領」各最新版
・石黒康夫・三田地真実「参画型マネジメントで生徒指導が変わる」図書文化（2015 年）

・林 尚示・伊藤秀樹「生徒指導・進路指導 理論と方法」学文社 （2018 年） その他、適宜に紹介する。
学生に対する評価 レポート評価（２５％）、スクーリング評価（２５％）、科目修得試験（５０％）の割合で総合して評価する。